

# 事務所通信 パクチャー

2025年7月号

## 税理士法人PLUS 1

〒542-0081

大阪市中央区南船場 1-16-10 大阪岡本ビル5階

電話：06-6264-6135 FAX：06-6264-6136

★2025年7月～EPSON ソフト仕様・契約更新変更★



今年には昭和元年からちょうど100年目。激動の時代を経て令和の世を迎え、テクノロジーが生活を一変させても、人々の悩みや喜怒哀楽といった感情の機微はそう変わっていないように思います。進歩の速さの中で見失いがちな人間の本質的な部分に目を向けること。そこに、時代を超える知恵が宿るのかもしれない。

## 知っどこ! 「税」の マメ知識

### 今月のマメ知識：【もしも確定申告を忘れたら？】

個人の確定申告は、前年分を翌年の2月16日から3月15日までに行います。では確定申告を忘れた場合はどうなるのでしょうか。期限内の申告忘れには「還付申告」と「期限後申告」の2つがあります。会社員のよ



うに会社が年末調整を行い、医療費控除などのような年末調整の処理ができない税金を還付してもらう「還付申告」であれば、5年さかのぼって申告ができます。一方、個人事業主が確定申告を忘れた場合は「期限後申告」になります。この場合は本来、納めなければならない税金の他に無申告加算税や延滞税がかかります。例えば、税務署の調査後に申告した場合には納付すべき税の15%（一定以上の場合は異なります）が課されます。なお自主的に期限後申告をした場合は、無申告加算税が5%に軽減されます。また何かの手違いなどで申告を忘れていたような場合には、無申告加算税が課されないこともあります。そのためには期限後1カ月以内に自主的に申告が行われていることなどの要件を満たす必要があります。

### 令和7年度税制改正セミナー報告

6月11日（水）にJEC日本研修センター心斎橋にて「令和6年度税制改正解説セミナー」を開催しました。悪天候の中、42名の方にご参加いただき、税目ごとの税制改正セミナー・知っておくべき実務&税制セミナー・決算書の読み方セミナーを実施しました。初めてご参加いただいた方も多く、担当者以外の事務所メンバーを知っていただく貴重な機会となったかと思えます。ご参加いただいた皆さま、改めてありがとうございます。今後も様々なセミナーを定期的で開催予定ですので、皆様にご満足いただけるよう職員一同精進してまいります。今回は事前に気になるテーマをアンケートで回答いただき、セミナーの内容に取り入れるという初めての試みをしました。少しでも今後のお役に立てば幸いです。セミナーを受講されて疑問に感じた点などありましたら、お気軽に担当者までご質問ください。今後もクライアントの皆さまが一同にご参加いただけるようなイベントを開催予定ですので、告知の際は是非ご参加ください!! 😊



# 今月の いろいろ 「掲示板」

## エプソンの会計シリーズへの移行手順

2025年7月1日より『財務応援 R4』から『エプソンの財務会計』へリニューアルされます。利用方法がユーザー単位でのライセンス認証方式へ変更されるため、使用開始までに事前設定を行っていただく必要があります。

具体的には『エプソンの会計ポータル』より現在利用している①お客様番号②パスワードで、ログインして利用者情報を登録する必要があります。

これらの作業を事前に行っていない場合は7月以降会計ソフトを使用することが出来ません。具体的な手続きなどは担当者へご確認ください。

また、2025年8月以降の契約更新時、料金のお支払いが株式会社ラクーンフィナンシャルの提供する「Paid決済」へ変更されます。「口座振替」「銀行振込」を選択できますがいずれも「Paid」の会員登録が必要です。登録がない場合は一時的にソフトが利用できなくなりますので、EPSONより届いた書類またはHPよりお手続きをお願い致します。

# 振り向けば あそこにも ここにも 「商売のヒント」

## 今月の商売のヒント：【心を動かす「ストーリー」の力】

昭和の高度成長期を代表する「三種の神器」といえば、白黒テレビ、電気洗濯機、電気冷蔵庫。夢の家電製品として多くの家庭が憧れていたのは、その機能性や利便性が豊かさを象徴していたからでしょう。何事も効率重視。すぐに「利益は？費用対効果は？」と問われた古き良き昭和の時代。しかしその効率重視の価値観は、今や大きく変わりました。モノと情報であふれかえった令和の時代に差別化を図るには、利便性や機能、価格競争だけではとても適いません。今どきのキーワードは「ストーリー」なのです。顧客の心に響くストーリーを、商品やサービスにどのようにしてまとわせるかが鍵となります。例えば、大阪府大阪市で数十年来ハンコの町工場を営ん



できた岡田商会在手がけた「ねこずかん」は、猫のイラストに名前を入れることができる印鑑で、累計13万本を超える売り上げを記録しています。ヒットの要因は単なる可愛らしさだけではありません。「わが家の愛しい猫の名前が印鑑になる」という個人的なストーリーが、猫好きの琴線に触れたようです。そこに湧き上がる温かい感情や懐かしい思い出が消費者の心に刺さったようです。「好き」をつくる町工場を自認している岡田商会のモットーは「義務を、遊びに。」小さな会社だからこそできる、顧客一人ひとりの感情に寄り添う視点がクチコミを呼び、熱烈なファンを生み出す原動力となっているのでしょう。モノがあふれかえる現代、人々の心を動かす「小さなストーリー」こそが、競争を勝ち抜くための最強の武器となる。岡田商会の挑戦は、その事実を私たちに教えてくれます。



左が塩昆布たっぷり梅ポンズ、オリーブ油漬、梅干、梅シロップ、酒粕漬

李です。この時期に出回る「梅」で去年はジップロック・梅干を作りました。今年は氷砂糖と黒酢を入れた梅シロップ、梅を味噌やオリーブ油、酒粕にもつけました。未だ熟成段階なので美味しいか、どうかは不明です(笑)そして今年一番のヒットは「梅ポンズ」です。元々、大阪は他府県に比べてポン酢の消費が格段に多いと言われるほど「ポン酢」好き。そのポン酢を梅で作ってみたいと思って早速トライ。山梨県の「梅塩昆布」からヒントを得ました。とても簡単なので、ポン酢と梅がお好きな方は是非、作ってみてください。洗って乾燥させた①青梅(小梅がオススメ)のヘタを取り、串でエキスがよく出るように刺して、②塩昆布と一緒に瓶いっぱい詰めます。最後に③ストレートそばつゆを注いで蓋をしたら作業終了です。小梅を使ったのでだいたい一週間ほどで食べられます。ながく置くほど◎ 従来の柑橘系のポン酢よりも優しい酸味と旨味で我が家では白身の刺身、もずく、冷奴などにかけて食べています。美味し過ぎて最後は飲み干すくらいです 😊